

令和5年度 中部教育事務所主催の初期研修が開催されました。



今回の研修では次の2点について、講義・演習等を行いました。

- ① メンタルヘルスへの理解と初期研修者同士のつながりづくりについて
- ② 総合的な学習の時間における指導の在り方について



【エンカウンターの様子】

エンカウンターでは、心と体をほぐし、仲間と一緒に学び合う雰囲気づくりをしました。メンタルヘルスでは、自分の不調の兆候や気付きのポイントを知り、メンタル不調を防止するにはどうすればよいか、具体的に教えていただきました。

総合的な学習の時間については、全体的な理論を把握し、実践紹介と演習を通して、実際に明日からの総合的な学習の時間に生かすことができる内容を提供しました。特に実践紹介では、住吉南小学校の吉國恭子先生に、単元を見通して指導する素晴らしい実践を紹介していただきました。

事後アンケートで「研修を通して、総合的な学習を充実させるために、問いの大切さ、学習の流れが重要であることを学びました。しっかりと計画や内容を考えて取り組みたいと思います。」という声が聞かれました。

コロナ禍を経て、初期研修の在り方が様変わりしました。その中で、122名の初期研修者が一堂に会し、つながりをつくりあえたことが何よりでした。



【初期研修者全員で】

令和5年度 南那珂地区エリア研修(指導力向上)が11月14日(火)に日南市南郷ハートフルセンターで開催されました。

宮崎県教育委員会が作成した『「分かる!」「できる!」学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック』を基に、講義、実践発表、協議を行いました。今回の絆では、「集団の中で気になる子どもに対する支援の在り方」について、宮崎県教育研修センター 矢野秀平指導主事が行った講義内容について紹介いたします。学校全体で取り組む授業の土台づくりとして「①環境づくり」、「②授業づくり」の2つの視点で講義をしていただきました。



「①環境づくり」について、**教室周りの掲示物の精選による刺激の調整、「すること」と「ルール」の明確化による活動の見通しをもつこと**等があります。

「②授業づくり」については、「分かる」「できる」を実感できる授業づくりのために、**実態把握・一斉指導の工夫、個別の支援、個に応じた特別の指導・支援**が大切になってきます。



講義は多くの具体的な事例を踏まえた内容となっており、大変参考になりました。本講義内容につきましては、「[中部教育事務所のホームページ](#)」で講義動画を配信していますので、是非、校内研修等で御活用ください。

問合せ先: 中部教育事務所 Tel (0985) 44-3322 Fax (0985) 44-3330
(担当: 酒匂) 代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。

単元：自閉症・情緒障がい特別支援学級 自立活動『自分の気持ちに気付き、適切に相手に伝えよう』

【本時で育成する資質・能力】 自己や他者の意図を理解し、場に応じた適切な行動をとるための方法について考える。（人間関係の形成（2）他者の意図や感情の理解に関すること（3）自己の理解と行動の調整に関すること。ゲームで負けても我慢したり、気持ちを切り替えたりしていらしたときの対処の方法を考えたり身に付けたりする。（心理的な安定（1）情緒の安定に関すること）

【導入段階】授業の見通しをもたせ心理の安定を図ることで本時への期待感をもたせる

- 1 どうがをみる
- 2 めあて
- 3 いらいらくんをしる
- 4 トレーニング
- 5 まとめ(ふりかえり)



視覚資料を使って本時の流れを提示し、見通しがもてるようにする。また、動画や写真、イラストを活用して興味、関心をもたせ、本時のめあてに導く。

自立活動の指導に当たっては、個々の児童生徒の的確な実態把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることによって、個別に指導目標や具体的な指導内容を定めた個別の指導計画が作成されることが必要である。

しかし、指導目標を達成する上で効果的である場合には、集団を構成して指導することも考えられる。本時については、集団を構成して指導することが効果的であると見え、単元を構成している。

自立活動は、日常生活や学習場面で生じる様々な困難を改善・克服するための指導です。

【めあて】いらいら君と仲間になるためには、どのようにすればよいだらう



【展開段階】個人→担任との学びやペア（グループ）で最適解・納得解を導くための自立活動の方法

①個人思考

自己を振り返る(自分の中のいらいら君を知る)
「学校生活を動画で振り返ったり、ワークシートを活用したりして自己を知る」

動画や写真を見て、学校での自分の様子を振り返ってみよう！



ワークシート、タブレットの有効活用(視覚+聴覚)

私のいらいら君は、国語や算数の授業中に出てくるな。



僕のいらいら君は、昼休み友達と遊んでいるときに出てくるな。



③ペアやグループでの活動をいれながら学習する

自分の思い通りにならない場面を設定したソーシャルスキルトレーニングを行う



「じゃんけんゲーム」
勝たらうれしい、負けたらいらいらする。なんでだろう。
「穴抜きゲーム」
穴を埋められたらうれしい。埋められないといらいらする。なんでだろう。

いらいら君と仲良くなって、自分のいらいらを落ち着かせるためには、どのようにすればよいかみんなで考えてみよう！



勝負に負けることは悪いことではないんだ！いらいら君に「負けても大丈夫だよ」と話しかけてみよう。



深呼吸して気持ちを落ち着かせよう！わからないときは先生に聞いたり、お助けカードを提示したりすればよいんだ。



②協働的な学び 担任との学びや、ペア（グループ）での学び

発表を通して友達の意見を聞く
「自分と同じいらいら君もいるけど、人それぞれ違ういらいら君がいること知る」
～自己理解から他者理解へとつながる～

Aさんは勝負に負けそうになったときに出てくるんだな。

+

Bさんは、授業中問題が解けないときにでてくるようだ。

④みんなで振り返る

いらいら君と仲間になるためには、深呼吸をして心の中でいらいら君に話しかければよい

【終末段階】学習内容の定着と発展的な課題の提示で人間としての調和のとれた育成を目指す

その子にとって強みとなる行動に着目し、成功体験を重ね、クラスや交流学級で認め合えるような言葉掛けを意識することで社会生活に生かせるようにする。



自分の思いどおりにならないときに出てきているのかもしれない。

